

寺久保山～大小山山行報告

【山行日】2024年2月25(日) 曇り後雨

【集 合】岩舟支所P AM 6:00

【費 用】マイカー2台 : 400円

【メンバー】CL:鈴木ユ、 SL:廣瀬

飯口、飯野、伊藤、植竹、大塚、石澤、鈴木ミ、
関、野口、福島、藤原ト、吉田

【コースタイム】岩舟支所 P6:00 = 寺久保
P6:30/6:45～雷電神社 6:50～寺久保山 7:45/8:00
～塩坂峠 9:40/9:50～鳩の峰 9:50/10:00～越床峠
12:00/12:20～妙義山 13:10～大小字 13:30/13:40～
阿夫利神社 P14:00/14:10＝道の駅「たぬま」14:20/14:40＝岩舟支所 P15:00

夏山山行のトレーニングとして、寺久保山～大小山までロングトレイルを計画した。

皆さん夏山山行に向けて意欲的で、参加者が多く14名での山行となった。ところが朝の天気予報で



は10時過ぎから小雨の予報に変わり、縦走を止めて寺久保山から塩坂峠の周遊コースに変更する。2台の車に分乗して岩舟支所を出発し、途中道の駅「たぬま」でトイレを済ませ寺久保の駐車場に着く。準備を整え、ストレッチを行って出発する。駐車場からたんぼ道を通して雷電神社に行き、神社で安全登山を祈願する。神社の左側から駐車場へ登り、駐車場の左奥に「寺久保山登山口」の小さな標識がある。雑木林の中の細い道をジグザグに登り、尾根に出たら右に北に向かって

登って行く。小さなピークを越え2つ目のピークが雷電山で、休憩して衣服調整と水分補給を行う。ここからは自然林の尾根歩きが続き、展望が良く気持ちよく歩ける。左側のゴルフ場はソーラパネルが並び、大規模な太陽光発電所と変身していた。曇り空だが明るく、アップダウンの尾根は岩場の歩きもあり皆さん楽しそうに歩いて行く。一旦大きく下ると杉やヒノキの樹林帯の急登になり、傾斜が緩くなって笹の道を進むと寺久保山山頂に着く。山頂は平坦で広いが、樹林帯の中で展望は得られない。小休止して果物や菓子を食べて、山頂標識の前で記念写真を撮ったら出発する。西に向かって平坦な尾根を進み、少し先から南に急坂を下って行く。



この先もアップダウンを繰り返して稜線歩きが続き、いくつものピークを越えて行く。山王山への道



を右に分け、直進して塩坂峠を目指す。岩混じりの展望の良い稜線歩きが続き、左手には今登って来た尾根、右手には赤城山が望める。道は東に向かって進むようになり、三角点分岐から再び南に向かって進むようになる。右側に北関東道が見えるようになり、小さなアンテナを過ぎて展望の良い岩稜を越えると塩坂峠に着く。塩坂峠はベンチや案内板があり、大休止してスイートポテトやぬれ煎餅をいただく。空は明るく昼ころまでは持ちそうなので、大小山まで縦走したいか聞くと、

皆さん縦走したいとの返事が返ってきた。ここから鳩の峰まで登り、鳩の峰から我輩と飯野さんは皆と分かれて塩坂峠に戻り、寺久保まで下って車を回収し阿夫利神社へ向かった。皆さんは鳩の峰から越床峠に向かって縦走する。アップダウンを繰り返して稜線歩きが続き、旧国道293号線に

降りて登り返すと越床峠に出る。越床峠の先で昼食を食べ、越床山から毛野山、あいの山と急なアップダウンが連続する。我輩と飯野さんは阿夫利神社駐車場から大小山に登り、雨が降り出したので大小の字の東屋で昼食を食べる。ここから大小山に登り、妙義山を越えてあいの山で皆さんと無事合流できた。皆さんも越床峠から雨が降って来たそうで、レインウエアの上衣を来ていた。妙義山山頂で記念写真を取り、大小山から大小の字の東屋で休憩しておやつタイム。残ったおやつが出され、ロングトレイルを歩き切った達成感が溢れ、皆美味しそうに食べていた。ここからは阿夫利神社に向かって下るだけで、ゆっくりと滑らないよう慎重に下って行く。女坂を下って行き、石の階段から舗装された道を下ると阿夫利神社に着いた。



靴を履き替えてトイレを済ませたら車に乗り、道の駅「たぬま」に向かう。道の駅「たぬま」で買い物し、予定より早く岩舟支所に帰着した。